

2020年 12月 11日

マスターズ部会

会員各位

公益社団法人日本ホッケー協会

マスターズ部会 関谷淳一

「WMHマスターズホッケーワールドカップ2020東京大会中止の件」

平素は、部会の活動にご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。皆様におかれましては、コロナ禍でさぞかし、ご苦勞が多き、不自由な生活を強いられてことと拝察いたします。かかる状況下、本年のマスターズ関連の全国的な事業は、全て、中止となりましたが、先月の伊吹オープン開催は、本年、唯一の交流を深める場となりました。

さて、首題の件ですが、2020年12月1日にワールドマスターズホッケー(WMH)は2021年に開催予定であるマスターズホッケー国際競技大会を、全て、中止するとの声明を発表致しました。

かかる WMH の決定により、1年延期されたマスターズホッケーワールドカップ2020東京大会(2021年11月7日～17日開催予定)は、中止を余儀なくされることになりました。日本ホッケー界にとっては、シニア世代のホッケー競技の普及、国際交流を深める意味で、意義ある大会が中止になったことは、誠に残念・無念ですが、現状の客観情勢からは止むを得ない判断であると思っています。

来年開催予定であったワールドカップ東京大会、その準備において、献身的に作業をして頂きました開催国組織委員会の委員の皆さんには、これまでのご尽力に対して厚く御礼申し上げます。皆さんの作業されたものは、マスターズ国際大会の運営のノウハウとして、今後、生かされると確信しています。

又、日本チームとしては、国別対抗戦に4チーム(60+ 65+ 70+ 75+)、クラブ対抗戦に1チーム(60+)をエントリーして、来年からは強化合宿を行い、各カテゴリーの選手を選抜する予定でした。地元開催の東京大会を楽しみにしておられた選手候補の皆さんは、がっかりされると思いますが、中止が現実であることを、受け止めて頂きたくお願い致します。

WMHとして次回マスターズホッケーワールドカップは、2022年に新たな大会として開催する方針ですが、次回大会に再度、我々が立候補するかは現状では全くの白紙の状態であることを、末筆に、お伝えさせていただきます。

以上、取り急ぎ中止のご連絡と、ご支援を頂いた皆様への御礼を配信致しました。